

前川喜平さん講演会「政治と官僚」 ～権力者と役人のあり方を考える～

ロシアによるウクライナへの侵攻により、21世紀の戦争が現実のものになりました。メディアを通じて報道される戦争の姿はいかに、人間の尊厳を失わせ、戦争犯罪が平然と行われることに衝撃を受けました。プーチンによる戦時下の言論統制はかつて日本が乗り越えてきた戦前の日本の姿そのものです。長期政権は必ず腐敗し、独裁体制に通じ、国民の声はかき消され権力の思うままに政治が運営され、行き着く先は戦争への道にたどり着きます。

今回の講演会は日本の右傾化と戦前の日本回帰の動きに警鐘を鳴らす言論活動を展開する前川喜平氏に講師を依頼しました。

前川氏は文部官僚の最高位までたどり着きながら、退職後、森友・加計事件を通じた官僚による忖度政治を厳しく批判し、文書改ざ

んや国会の虚偽答弁等いかに権力が腐敗するかを発信しています。「面従腹背」の言葉に代表されるよう、役人といえども人間としての良心を失ってはならないと訴えています。

ウクライナ戦争を契機に平和憲法を改悪し武力行使を現実のものにし、果ては核兵器を持つことを平然と主張する元首相まで現れました。戦後日本の平和国家が曲がり角に来ている中、権力者と役人のあり方について自らの経験を踏まえてお話いただけることになりました。この時代をどう生きるのか、関係する皆様のご参加をおまちしています。

なお、講演にあたりましては、ガイドライン (https://chiba-jichiken.net/img/new_corona1.pdf) に基づき、新型コロナウイルス感染症対策を実施します。参加者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

[講演会資料代 500円 会員無料]

★お申込は自治研センターへ 電話043-225-0020
FAX 043-225-0021
☆6月3日(金)までにお申し込み下さい

自治研センター 講演会のご案内

- 日時：2022年6月18日(土)
15時～17時
- 会場：千葉県教育会館本館303会議室
千葉市中央区中央4-13-10

＜講演 講師紹介＞

前川 喜平 氏
(まえかわ きへい)



＜現職＞現代教育行政研究会代表、日本大学文学部講師。福島市と厚木市で自主夜間中学のスタッフも務める。

＜略歴＞1955年奈良県生まれ。1979年東京大学法学部卒業、文部省（現文部科学省）に入省。宮城県教育庁行政課長、文部大臣秘書官、大臣官房長、初等中等教育局長などを経て、2016年文部科学事務次官。2017年退官。著書に『面従腹背』『権力は腐敗する』（いずれも毎日新聞出版）、『同調圧力』（望月衣塑子氏らとの共著）（角川新書）、『官僚の本分』（柳澤協二氏との対談）（かもがわ出版）など。

- 主催：千葉県地方自治研究センター
- 共催：自治労千葉県本部
- 後援：連 合 千 葉